

令和4年(2022年) 7月5日(火) 13916号



株式会社 日刊金属

本社 大阪府北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

アルミ二次地金同合金地金生産実績

生産・出荷 前年比9か月連続マイナス

日本アルミニウム合金協会

一般社団法人日本アルミニウム合金協会(北山悟会長)はこのほど、2022年5月の二次地金同合金地金等生産実績を発表した。生産(自家・受託合計)は52,564トンで前年同月比87.6%、出荷(販売・その他合計)は53,312ト

ンの同86.6%。生産、出荷の同比はともにマイナスの9か月連続マイナスとなった。

前月の4月発表時の前年同月比は、生産が89.6%、出荷は86.7%で、5月はともにダウンした。また、前月の4月対比では、生産は82.6%、出荷は84.7%だった。

産業部門別出荷(二次地金同合金地金同ピレット等)の前年同月比は、全8部門(粉除く)でマイナスとなっており、その幅は、鉄鋼の5.4ポイントから「その他」の67.3ポイントまでとなっている。

(令和4年5月)

区分	月初在庫	生産		入		消費	出荷			過欠補正	月末在庫
		自家生産	受託生産	その他	計		販売	その他	計		
地区別											
東	9,288	18,159	1,351	45	19,555		17,754	1,337	19,091		9,752
中	8,325	16,950	927	593	18,470	80	16,719	1,470	18,189		6,526
近	4,731	10,080	1,392	59	11,531		9,849	1,387	11,236		5,026
九州四国中国	2,605	3,556	149	0	3,705		3,687	109	3,796		2,514
計	22,949	52,564		697	53,261	80	48,009	4,303	52,312	0	23,818
前年同月比%		87.6							86.6		102.3

区分	月初在庫	生産		入		消費	出荷			過欠補正	月末在庫
		自家生産	受託生産	その他	計		販売	その他	計		
品種別											
二次地金	491	4,654	1,955	92	6,701		4,555	2,042	6,597		595
合金地金	20,549	40,854	856	59	41,769	80	40,071	864	40,935		21,303
ピレット	5	334	0	0	334		334	0	334		5
母合金	1,400	1,000	928	442	2,370		952	1,362	2,314		1,456
ベースメタル	504	1,903	80	104	2,087		2,097	35	2,132		459
その他	0	0	0	0	0		0	0	0		0
計	22,949	48,745	3,819	697	53,261	80	48,009	4,303	52,312	0	23,818

部門別	品名	出荷							計		
		鋳物	ダイカスト	板	押出	鉄鋼	合金地金メーカー向け	粉		輸出	その他
品名											
アルミニウム二次地金同合金		13,704	27,224	4,741	1,261	3,300	2,004	-	42	36	52,312
合金同ピレット等		(93.6)	(81.7)	(95.2)	(83.3)	(94.6)	(87.3)	(-)	(70.0)	(32.7)	(86.6)

() 内数字は前年同月比 %

(令和4年5月)

区分	月初在庫	入					消費	出荷				過欠補正	月末在庫	
		購入		受託		その他		販売	委託	その他	計			
原料名														
新地金	9,853	0	3,243	0	1,001	0	4,244	3,875	48	305	0	353	8	9,877
ベースメタル	12,069	7,300	853	27	0	63	8,243	7,422	428	26	0	454	27	12,463
アルミくず	8,273	5,113	72	40	0	0	5,225	5,304	0	0	0	0	-6	8,188
合金板系統	30,935	23,458	84	1,241	0	0	24,783	25,112	1,639	267	0	1,906	-3	28,697
くず 鋳物系統	13,213	18,452	818	511	0	0	19,781	19,363	118	103	0	221	-16	13,394
ドross・灰	902	4,730	0	106	0	71	4,907	4,649	174	96	0	270	0	890
金属珪素	4,153	0	2,757	0	16	28	2,801	2,611	0	2	0	2	-4	4,337
その他	1,391	1,666	87	122	11	29	1,915	1,956	58	29	0	87	0	1,263
計	80,789	60,719	7,914	2,047	1,028	191	71,899	70,292	2,465	828	0	3,293	6	79,109



銅合金地金標準販売価格を決定 近畿青銅会

近畿青銅会は7月の銅合金地金標準販売価格を発表した。各種品目の標準販売価格は次の通り。

(単位：キロ当たり円、カッコ内は前回比)

◇青銅BC1種 1,290円 (-)

◇青銅BC2種 1,635円 (▲10)

◇青銅BC3種 1,725円 (▲10)

◇青銅BC6種 1,415円 (◎5)

◇青銅BC7種 1,525円 (-)

◇黄銅YBSC3種 1,135円 (▲20)

◇鉛青銅LBC3種 1,665円 (▲10)

◇りん青銅PBC2種 1,750円 (▲10)

「マナビDX Quest」の受講生 募集開始

経産省

経済産業省は、地域企業・産業のDX実現に向けて人材育成を進めるため、9月から翌2月にかけて、企業データに基づく実践的ケーススタディ教育プログラムや地域中小企業と協働するデジタル技術活用課題解決型現場研修を実施。7月1日から8月1日まで受講生を募集する。

デジタル知識・能力を身につけるための実践的な学びの場として、ポータルサイト「マナビDX(デラックス)」を3月に開設。ビジネス現場で課題解決能力を磨くため、人材育成プログラム「マナビDX Quest」を実施。企業のDX推進に向け変革の考え方やプロセスを学び、デジタル人材とのつながりを構築できるという。

ケーススタディ教育プログラムは座学でなく、受講生が情報交換し学び合い教え合いながら、課題を解決して

いくプロジェクト型学習が中心。現場研修として、地域の中小企業が抱える課題にチームで取り組み、経営陣・担当者との協働による実体験を通じて、DXを現場で推進する際の難しさやポイントを学ぶ。9月初旬から明年2月中旬まで週6~12時間の課題取り組みを想定。平日夜や土曜に議論・知識共有や相談会など受講生の交流も予定。

参加希望者はWeb募集ページ記載の開催概要・募集要項などを確認のうえ応募する。募集人数は1,800名程度を予定。選考結果は可否に関わらず8月8日から12日までにメールまたは電話で通知する。

世界を結ぶ循環流通サービス 原料から製品まで



銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

- 本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530
- 東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800
- 名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005
- 海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

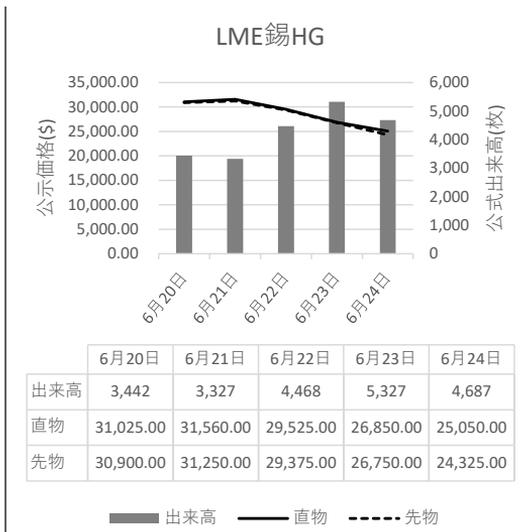
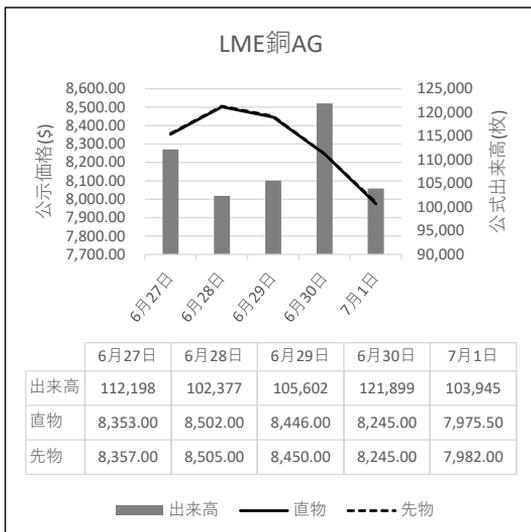
<http://www.ogico.co.jp>

01 まずはDXについて知りたい
いまさら聞けない「DX」をわかりやすく解説します！
DXって何？7年までの働き方がどう変わるの？という疑問に答えるコンテンツを集めました！

DeruQui
出る杭を見つける

学びたい、お役立ちコンテンツ
いま学びたい、お役立ちコンテンツ(DX-デジタル戦略・ビジネス変革、等)
デジタルトランスフォーメーションの基礎
デジタル時代に直面する変化と求められる人材像

LME公式値週間推移 6月27日~7月1日(現地)



※ 7月1日の出来高は速報値です。



JOGMEC

(055)

迫る爆発的EV需要の顕在化

～中南米における中国・韓国企業の動向 (上)～

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（細野哲弘理事長）はこのほど、報告「中南米における中国・韓国企業の動向」を公表した。日、中、韓はリチウムイオン電池LIB生産の世界的な中心地だが、銅資源なども含め、特に中国が積極的に海外投資を行っている様子がうかがえる。金属企画部調査課・小口朋恵氏の報告の抜粋・要約を、上・下で紹介する。

はじめに

リチウム関連情報では、今やほぼ必ずと言っていいほど中国の名を目にするようになり、10年前とは顔ぶれがすっかり変わってしまったことは自明である。中南米で金属資源開発が積極的に行われている6か国、チリ、アルゼンチン、ペルー、メキシコ、ポリビア、エクアドルを取り上げ、非鉄金属の代表でありEV関連でも需要が伸びるとされる銅鉱山と、南米で注目される資源のひとつリチウム開発における中、韓企業の存在感について見ていく。

1. 鉱業における中南米と日中韓の関係

(1) 日本にとっての中南米

財務省貿易統計によると、2021年の日本の銅精鉱の輸入量は4,959千t（グロス）。国別の内訳は、多い順にチリ、豪州、インドネシア、ペルーとなり、チリとペルーが全体の50%を占めた。また、21年の日本の炭酸リチウムの輸入量は2,288t（同）。国別内訳は、チリが全体の7割以上を占め、次いでアルゼンチンで、この2か国から8割以上を輸入した。ほかに、チリからはモリブデン、レニウム等、ペルーからは亜鉛、錫、鉛等、メキシコからは銀、亜鉛等、我が国は様々な鉱種を中南米からの輸入に依存し、鉱物調達源として重要な役割を担っている。

(2) 中南米にとっての日本、アジア

チリの銅精鉱輸出に関しては、Global Trade Atlasによると、21年は70%が中国に輸出された。次いで日本、韓国と続き、チリの銅精鉱の8割以上を日韓中3国に輸出している。21年のチリの炭酸リチウム輸出も、GTAデータでは46%が中国、次いで26%が韓国、12%が日本となっており、3国で全体の8割以上を占めた。

アルゼンチンの炭酸リチウム輸出は、GTAによると、現時点で最新のデータだった18年は、中国へ45%、米国に次いで日本へ13%、韓国へ8%輸出した。アジア3か国へ6割以上を輸出したことになる。ペルーの銅輸出は、エネルギー・鉱山省鉱業統計によると、中国が約50%、次いで日本が6.9%、韓国が6.5%となっており、3国へ6割以上輸出した。いずれの統計も、日中韓3国へ半分以上、多いものは8割以上輸出しており、

中南米の鉱物資源の輸出相手として、このアジア3か国、特に中国が重要なポジションを占めていることが読み取れる。

2. 世界の銅、リチウム需給

韓国の市場調査SNE Research社が発表した21年のEV等への搭載電池のメーカー別シェアで、1位は中・新能源科技股份有限公司（CATL）、2位は韓LG Energy Solution社、3位は日Panasonic社で、4～10位も中国、韓国の企業が占めている。中国がEV最大の生産地かつ需要地であり、今後爆発的に需要が増えると見込まれているリチウム資源を、中国や韓国は世界中からかき集めるべく投資に躍起になっていることが想像できる。

3. チリ

(1) 銅

近年は粗鉱品位低下が課題となるなど優良プロジェクトの開拓が徐々に難しくなりつつあり、中国が新たに鉱山開発を行う投資判断はしづらいつつ考えられる。一方、チリの各企業にとっても中国は重要な顧客であり、中国としても安定的にチリから銅精鉱を購入できる以上、直接投資する必要性を感じていない可能性もある。

(2) リチウム

チリで現在操業中のプロジェクトは智と米の2社で、権益比率はどちらも100%。世界のリチウム生産量ランキングでチリは豪に次ぐ2位となっているが、この2社で2位の地位を堅持していることから、2社の操業がいかに大規模であるかが想像できる。チリでの計画案件は、豪、智、加の3社によるプロジェクトと、加社によるプロジェクトの計2件が主なもの。プロジェクトが少ないのは、リチウムが放射性物質として規定されていることに起因する。

(3) 中国の存在感

資源メジャー各社の権益保有者を見ると、権益比率1%未満の割合で、香港のヘッジファンドが含まれている。さらに、Rio Tintoの最大株主は中国鋁業股份有限公司で、保有比率は11.27%となっているほか、加社に09年、CIC中国投資有限責任会社が資本参加している。チリの銅精鉱の最大の貿易相手は中国であり、権益比率を眺めただけで「中国の存在感が皆無」と結論付けるのはやや短絡的かもしれない。リチウム案件にも、現行・計画いずれにも中国企業の名は無い。世界の大手リチウム生産者は「Big 5」と呼ばれ、「5」は、チリで操業する智SQM社、米Albemarle社のほか、米Livent社、中・天齊鋁業股份有限公司、中・江西贛鋒鋁業股份有限公司を指す。うち智SQM社の株式23.77%は、天齊鋁業が18年12月に加Nutrien社から取得したことから、SQM社には中国資本が入っていることとなる。中国が皆無という訳ではないという点は強調しておきたい。

〈下〉に続く

故銅市況

前週末2日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,245.00ドルより269.50ドル安の7,975.50ドル。直物の終値は、前営業日の8,254.25ドルより214.00ドル安の8,040.25ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の8,245.00ドルより263.00ドル安の7,982.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,258.00ドルより210.00ドル安の8,048.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の9月限は、前営業日の371.00セントより10.60セント安の360.40セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の8月限は、前営業日の6万4,200元より1,610元安の6万2,590元。

週明け4日の東京為替市場TTSレートは、前週末の136.99円より1.01円の円高ドル安、1ドル=135.98円。2日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,975.50ドル。この値と4日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の116万7,000円より4万5,000円安の112万2,000円。この日、電気銅建値は117万円に据え置かれた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(7月1日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が902~907、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは867~872、並銅は832~842、込銅（高品位=約97%）は822、セパは680~685。コーベルは要り用筋で621、それ以外は606ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋631、それ以外601~611どころの値頃。並青銅鋳物削粉は728~733どころ。

小口市市中相場(1トン前後)では、ピカ線が882~902、上銅新しくずが847~867、普通上銅が822~842、2号銅線が814~834、並銅が812~832、込銅(94-97%)が760、込銅(90-93%)が762、下銅が428~478、セパが645~680、コーベルが561~606、黄銅棒地が556~601、黄銅削粉が551~596、黄銅ラジが516~524、交叉ラジが474~531、黄銅銅鋳物が475~482、送りが297~316、上青銅鋳物が725~745、並青銅鋳物が705~720、上青銅鋳物削粉が720~740、並青銅鋳物削粉が695~715どころ。

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社 原田商店

代表取締役 原田 靖章
〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30
TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

為替動向

1日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0070ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0380ドル~1.0390ドルで推移した。EU統計局が1日発表した6月のユーロ圏消費者物価指数（HICP）速報値は伸び率が前年同月比で8.6%と前月の8.1%から更に加速。市場予想の8.4%も上回り記録的なインフレを印象づけるものとなった。これを受けECBがインフレ抑制を優先する金融引き締めを継続するとの見方が拡がり、欧州経済の減速懸念からユーロ売りドル買いが優勢となった。英ポンドも対ドルで下落。同じく0.0140ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.2000ドル~1.2010ドルで推移した。

1日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続伸した。前日と比べ0.55円の円高ドル安、1ドル=135.15円~135.25円で取引を終えた。この日発表された6月のISM製造業景況感指数は53.0と2020年6月以来の低水準で市場予想の54.3も下回った。アトランタ連銀のGDP予測では4-6月期の経済成長率が前期比2.1%減（年率換算）で、1-3月期に続きマイナス成長となれば「景気後退」とみなされる。安全資産とされる米国債が買われたことで長期金利が低下。一時は前日と比べ0.22%低い2.79%と1か月ぶりの低水準を付けた。

4日早朝の東京外国為替市場で円相場は上昇した。8時30分、前週末17時と比べ0.20円の円高ドル安、1ドル=135.10円~135.12円で推移していた。1日に発表されたISM製造業景況感指数は市場予想を下回る低水準となるなど、米国の経済指標が相次いで不調で長期金利も一時2.79%と一か月ぶりの低水準を付けた。円売りドル買いの持ち高解消も進み円相場を押し上げた。円は対ユーロでも上昇。同じく0.35円の円高ユーロ安、1ユーロ=140.97円~140.99円だった。

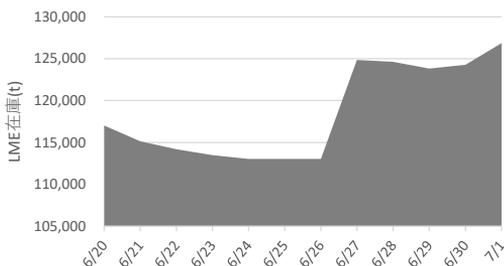
Nikkan Kinzoku

home.

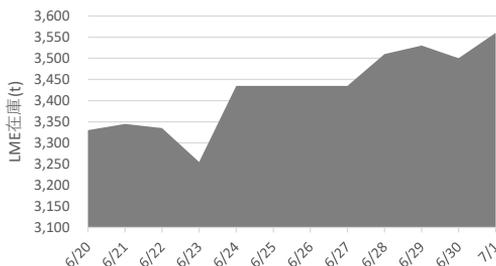


LME認定倉庫在庫量推移 6月20日~7月1日(現地)

銅



錫





LME銅相場は3営業日の続落で約6%安 直物終値は8,040.25ドル
 COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場は反落して約3%安
 LME非鉄相場は総じて軟調 アルミは3営業日の続落で約5%安



2日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、7月1日入電の8,245.00ドルより269.50ドル安の7,975.50ドル。3営業日の続落で6.19%安。この週3.68%の下落。7月に入って3.27%の下落。3か月物の前場売値は、7月1日入電の8,245.00ドルより263.00ドル安の7,982.00ドル。3営業日の続落で6.15%安。この週3.74%の下落。7月に入って3.19%の下落。LME公認倉庫の銅在庫は、現地6月30日の12万4,275トンより2,575トン増の12万6,850トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、7月限が、7月1日入電の371.45セントより9.55セント安の361.90セント。2営業日の続落で4.23%安。この週3.25%の下落。7月に入って2.57%の下落。8月限は、7月1日入電の371.25セントより10.30セント安の360.95セント。2営業日の続落で4.56%安。この週3.59%の下落。7月に入って2.77%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、7月限が、7月1日入電の6万4,270元より1,630元安の6万2,640元。反落して2.54%安。この週3.06%の下落。7月に入って2.54%の下落。中心限月に当たる8月限は、7月1日入電の6万4,200元より1,610元安の6万2,590元。反落して2.51%安。この週2.86%の下落。7月に入って2.51%の下落。

錫は続落

LME錫相場の前場売値は、直物が、7月1日入電の2万7,050.00ドルより50.00ドル安の2万7,000.00ドル。3営業日の続落で4.09%安。この週7.78%の上伸。7月に入って0.18%の下落。3か月物の前場売値は、7月1日入電の2万6,700.00ドルより100.00ドル安の2万6,600.00ドル。3営業日の続落で3.97%安。この週9.35%の上伸。7月に入って0.37%の下落。LME公認倉庫の錫在庫は現地6月30日の3,500トンより60トン増の3,560トン。

鉛はまちまち

LME鉛相場の前場売値は、直物が、7月1日入電の1,907.00ドルより12.00ドル高の1,919.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.63%高。この週1.21%の上伸。7月に入って0.63%の上伸。3か月物の前場売値は、7月1日入電の1,918.00ドルより7.00ドル安の1,911.00ドル。3営業日の続落で4.19%安。この週0.53%の上伸。7月に入って0.36%の下落。LME公認倉庫の鉛在庫は現地6月30日の3万9,525トンより25トン減の3万9,500トン。

亜鉛は続落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、7月1日入電の3,251.50ドルより126.50ドル安の3,125.00ドル。8営業日の続落で16.02%安。この週11.72%の下落。7月に入って3.89%の下落。3か月物の前場売値は、7月1日入電の3,232.00ドルより175.00ドル安の3,057.00ドル。3営業日の続落で9.50%安。この週9.68%の下落。7月に入って5.41%の下落。LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地6月30日の8万1,075トンより1,725トン増の8万2,800トン。

アルミも続落 アルミ合金は下落 北米特殊は反落

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、7月1日入電の2,397.00ドルより13.00ドル安の2,384.00ドル。3営業日の続落で4.64%安。この週2.13%の下落。7月に入って0.54%の下落。3か月物の前場売値は、7月1日入電の2,421.00ドルより21.00ドル安の2,400.00ドル。3営業日の続落で4.76%安。この週2.06%の下落。7月に入って0.87%の下落。LME公認倉庫のアルミ在庫は現地6月30日の37万3,275トンより万3,600トン減の36万9,675トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、7月1日入電の1,920.00ドルより288.00ドル安の1,632.00ドル。下落して15.00%安。この週15.00%の下落。7月に入って15.00%の下落。3か月物の前場売値は、7月1日入電の1,920.00ドルより260.00ドル安の1,660.00ドル。下落して13.54%安。この週13.54%の下落。7月に入って13.54%の下落。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、7月1日入電の2,521.00ドルより110.00ドル安の2,411.00ドル。反落して4.36%安。この週0.08%の上伸。7月に入って4.36%の下落。3か月物の前場売値は、7月1日入電の2,510.00ドルより110.00ドル安の2,400.00ドル。反落して4.38%安。この週横ばい。7月に入って4.38%の下落。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、7月1日入電の2万3,100.00ドルより1,450.00ドル安の2万1,650.00ドル。2営業日の続落で12.53%安。この週5.46%の下落。7月に入って6.28%の下落。3か月物の前場売値は、7月1日入電の2万3,030.00ドルより1,330.00ドル安の2万1,700.00ドル。2営業日の続落で12.16%安。この週5.03%の下落。7月に入って5.78%の下落。LME公認倉庫のニッケル在庫は現地6月30日の6万6,780トンより282トン減の6万6,498トン。

LME公示価格(US\$)／7月1日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,975.50	27,000.00	1,919.00	3,125.00	2,384.00	1,632.00	2,411.00	21,650.00
	前営業日比	▲ 269.50	▲ 50.00	12.00	▲ 126.50	▲ 13.00	▲ 288.00	▲ 110.00	▲ 1,450.00
	週間増減比	▲ 3.68%	7.78%	1.21%	▲ 11.72%	▲ 2.13%	▲ 15.00%	0.08%	▲ 5.46%
先物	公示価格	7,982.00	26,600.00	1,911.00	3,057.00	2,400.00	1,660.00	2,400.00	21,700.00
	前営業日比	▲ 263.00	▲ 100.00	▲ 7.00	▲ 175.00	▲ 21.00	▲ 260.00	▲ 110.00	▲ 1,330.00
	週間増減比	▲ 3.74%	9.35%	0.53%	▲ 9.68%	▲ 2.06%	▲ 13.54%	0.00%	▲ 5.03%

海外非鉄金属相場

(7月2日 入電・現地 7月1日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: NYコメックス相場, 出来高, 7月限, 8月限, 9月限, 10月限, 11月限, 前日比, 出来高.

Table with columns: LME (円ベース/キログラム), COMEX, 上海. Rows: 銅, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

Table with columns: フリー・マーケット, 米国生産者価格 (地金). Rows: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社.

Table with columns: NY相場. Rows: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド).

Table with columns: ロンドン相場 (ドル). Rows: 金 (オンス), アンチモン99.65% (トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド).

Table with columns: KLT M 銅 (MYR/KG, 出来高トン). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

Table with columns: LME 在庫 (トン). Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

Table with columns: 上海在庫 (トン). Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

Table with columns: LME プレマーケット (ドル). Rows: 先物気配, 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

Table with columns: 上海相場. Rows: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Rows: 7月限, 8月限, 前日比, 出来高.

Table with columns: 採算価格, 為替相場. Rows: フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算), LME (円ベース/キログラム), COMEX, 上海. Rows: 銅, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル, 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛.

非鉄金属製品相場

(7月4日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1460	1455	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1510	1505	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1590	1655	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	◎ 1710	1655	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	◎ 1620	1565	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1370	1425	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1425	1470	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 32.5~34.6
銅線0.9ミリ	1450	1485	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 88.9~94.5
銅帯6×50	1380	1425	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 222~236
銅平角線	1650	1655	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1195	1220	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1690~1797
〃 0.3ミリ	1225	1250	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2605~2769
黄銅大板2×1×2	1345	1400	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4376~4651
黄銅管	◎ 1765	1700	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2695~2860
復水器用黄銅管	◎ 1735	1670	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3771~4001
黄銅棒快削25ミリ	960	1060	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	990	1090	貴金属(一般小口向け)			3C×2 131-134
四角棒	1020	1120	白金(グラム)		◆ 4382	4C×2 176-180
鍛造用	1000	1100	パラジウム(グラム)		◎ 9630	6C×2 250-256
ネーバル	1100	1200	金(グラム)		◆ 8703	7C×2 286-293
高力	1100	1200	銀(キログラム)		◆ 97900	合金鉄 5月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1370	1400	レアメタル輸入価格	5月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 234
黄銅平角線ロール仕上	1570	1610	金属ケイ素(99.99%未満)	525		〃 その他 339.9
黄銅条1.5×100	1190	1235	モリブデン酸化物	3934		フェロシリコン55%以上 316
リン青銅板一般用1.0ミリ	◎ 2750	◎ 2940	タンタル	59294		フェロクロム4%以上炭素含有 303.6
〃 バネ用0.3ミリ	◎ 3030	◎ 3230	マグネシウム	651		フェロモリブデン純分60%以上 4001
リン青銅棒25ミリ	◎ 2840	◎ 3050	コバルト	10348		フェロバナジウム 4803
リン青銅線3ミリ	◎ 3240	◎ 3450	インジウム	29785		フェロニッケル33%未満 982.8
洋白板一般用1.0ミリ	◎ 3790	◎ 3920				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	◎ 3950	◎ 4070				

減摩合金	7月1日改定	銅合金地金	7月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5330	BC 1種	1290
2種	5170	2種	◆ 1635
3種	5000	3種	◆ 1725
4種	4385	6種	◎ 1415
5種	4210	7種	1525
7種	1415	YBSC 3種	◆ 1135
8種	1215	LBC 3種	◆ 1665
9種	1045	PBC 2種	◆ 1750



非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(7月4日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		42,000 ~ 44,000(1)		
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場			
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値	
1号銅線	1078	1067	電気銅	◆1098	◆1093	◆1100	◆1095	山元建値	電気銅 1170(1)	金 7,864(4)
2号銅線	1026	—	電気亜鉛	456	450	456	450	() 実施日	電気鉛 324(1)	銀 87,720(4)
上銅(新切)	1049	1032	蒸留亜鉛	444	438	444	438		電気亜鉛 484(1)	錫(99.99%) 5,100(1)
雑ナゲット	899	896	再生ダイカスト亜鉛2種	356	350	356	350			
並銅	981	963	再生亜鉛(98%)	303	297	303	297			
下銅	962	936	電気鉛	300	297	300	297			
銅削粉	961	939	再生鉛1号	283	273	278	273			
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	288	284	283	279			
新切黄銅セバ	799	796	錫1号	3900	3850	3900	3850			
コーベル	766	754	アンチモン	1950	1900	1950	1900			
黄銅棒地	750	742	ニッケル(メッキ用)	3300	3250	3300	3250			
黄銅削粉	744	738	コバルト	◆10800	◆10500	◆10800	◆10500			
並黄銅	690	675	セレニウム	3400	3200	3400	3200			
黄銅ラジエター	581	561	ビスマス	1350	1250	1350	1250			
交叉ラジエター	630	614	カドミウム	600	550	600	550			
黄銅鑄物	695	—	マグネシウム合金	600	580	600	580			
山送り(55%)	◆375	—	アルミ地金99.70%	◆367	◆363	◆369	◆365			
上青銅鑄物	820	—	アルミ二次地金99%	335	330	335	330			
並青銅鑄物	818	796	〃 90%	298	293	298	293			
上青銅鑄物削粉	813	—	アルミ二次合金ADC12	447	442	450	445			
並青銅鑄物削粉	803	784	鑄物用C2BS	472	467	474	469			
新切リン青銅(伸銅)	—	1050	青銅合金地金3種	1645	1635	1660	1650			
〃 (鑄物)	929	—	〃 6種	1340	1330	1350	1340			
リン青銅削粉	842	832	ハンダ錫60%	3555	3515	3575	3545			
新切洋白(電子材)	874	853	〃 50%	3060	3010	3080	3050			
新切亜鉛	226	226	〃 40%	2630	2570	2585	2555			
ダイカストくず	191	191	減摩合金2種	5135	5105	5140	5110			
亜鉛ドロス	169	180	〃 4種	4355	4330	4360	4330			
上鉛	141	139	〃 7種	1395	1345	1395	1345			
電池素鉛ケース込	27	27	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		145	145			
活字鉛	126	123		〃 ダライ粉		130	130			
新切アルミ1級	252	259		高耐食ステンレスSUS316		300	300			
新切サッシ1級	252	257		耐熱ステンレスSUS310		515	515			
新切合金1級	237	237		13クローム 新切		29	33			
機械鑄物1級	150	160		ハイス 9種		220	220			
ビス付サッシP	173	175								
合金削粉P	95	105								
込ガラP	90	97								
カン・バラ	180	171								

非鉄金属材料相場面

PW:KINZOKU2207